

としょかんNEWS 第83号



2014年2月12日
湘北短期大学図書館

さぼーち倶楽部、活動報告

● クリスマスパーティーで、第4回ビブリアバトル開催！

さぼーち倶楽部が12月10日にクリスマスパーティーを行い、その中で第4回 ビブリアバトルを開催しました。さぼーち倶楽部メンバー9名と図書館職員2名が参加し、総勢11名がそれぞれ持ち寄った本を5分間で紹介しました。

第4回 ビブリアバトル「チャンズ本」発表！

参加者全員で投票した結果、下記のとおりベスト3が決まりました。
おめでとうございます！

- 1位 『ポッコちゃん』(ほ/4) - Aさん(E2)
- 2位 『ドラえもん短歌』(ま/19) - Nさん(L1)
- 3位 『市場(スーク)の中の女の子』(331/マ) - Fさん(職員)
『残穢』(913.6/オ) - Tさん(職員)



● 春休みの遠足、実施！

2月7日にさぼーち倶楽部の遠足第5弾として、戸板女子短期大学図書館の見学と図書館サポーター交流会を行い、8名の学生が参加しました。

①図書館 and 学内見学ツアー ②ブックカバー作り方講習会 ③情報交換会

戸板女子短期大学図書館委員会のメンバーによる見学ツアーは、委員会が携わる館内展示の案内や屋上農園の見学。一緒にブックカバーを作った後は、お互いの活動について情報交換会。短い時間でしたが、おもてなし精神あふれる戸板のみなさまとの交流を通して、湘北の学生も沢山のことを学びました。



さぼ部キャラクター
さぼじい



ワシは金田一(はじめ)の名セリフ「じっちゃんの名にかけて」のじっちゃんこと、金田一耕助で、今年100歳になる。「金田一少年の事件簿」が今日あるのは、何を隠そうワシの活躍があったからこそなのじゃ。今日はその活躍を描いた映画やドラマを全てまとめた『金田一耕助映像読本』(洋泉社)をワシの意見や感想を入れて紹介するゾ!!

ワシを演じた俳優は実に23人もおるのだそう。有名なのは石坂浩二と古谷一行だが、2004年にはSMAPの稲垣吾郎が演じて嬉しかったし、何とあの西田敏行や寅さんの渥美清もやっているのにはビックリだ!!

この読本の表紙は真面目なイメージの石坂浩二だが、ワシが特に気に入っているのは古谷一行の方じゃ。どこか抜けていて気さくな彼の演技に、オドロオドロしい中にも一筋の安堵感を感じたからじゃ。彼の作品の中でも1978年から1年間TBSで放送された「横溝正史シリーズ」は特に秀逸で、現在DVDも発売されているので気になったらぜひ観てほしいなあ。

茶木みやこのエンディングテーマ曲も印象的じゃ。

同じタイトルの作品でも、犯人が原作と異なっていたり、設定が変えられたりしていることが多く、それらを比較するのも面白いゾ。ワシとしては、今でも日本のベストミステリーの5本に入る「獄門島」をぜひ観てほしい。特に石坂浩二主演・市川崑監督の映画版と古谷一行主演の横溝正史シリーズ5作目を比べてほしい。同じ作品でもこんなにも違うのかということがよくわかるゾ。特に市川監督作品の方は、原作と犯人が違うのだが、見終わったらきつと悲しくて涙が出てしまうゾ!あとプチ情報だが、この2月に日本映画専門チャンネルで、29時間に渡って「犬神家の一族」など4作品・9本を見比べることができるみたいじゃ。

金田一少年の事件簿をアニメや漫画で観るのもいいけれど、たまには本家のワシの作品を観て、ぜひ原作を読んでほしいな。じっちゃんの名にかけて、ワシの活躍を紹介したこの読本を読むことを絶対におススメするゾ!!

【連載】館長閑話(4) 伝記書に親しむ

館長 野口周一

前号では、私が学んだ高崎市立中央小学校の図書館を紹介した。当時、中央小の先生方は学校をあげて、『伝記書の指導と分析』(全国学校図書館協議会、1960年)という立派な研究書を完成させていた。この取り組みは、1958年9月に全国学校図書館協議会から「読書指導における伝記書の取扱い」という研究主題を与えられ、2か年をかけたものだった。この時期は、私の2年生~4年生にあたる。

小学生時代には伝記に夢中になるという時期がある。昨今の小学生がイチロー伝を読むように、私たちもニューヨーク・ヤンキースのベーブ・ルースやルー・ゲーリッグの伝記に親しんだ。いま調べてみると、前者は偕成社の児童伝記全集、後者はポプラ社の偉人伝全集であった。ルースについてはベーブと呼ばれた由来、生涯通算本塁打数714本(これは1974年にハンク・アーロンに破られるまでMLB最多であった)、ゲーリッグはコロンビア大学出身、2130試合連続出場を果たし鉄の馬と呼ばれたこと、両者が打線の中核になった1927

年ヤンキースは110勝44敗、その活躍ぶりに胸を躍らせたものだった。

さて、2010年9月10日、小棹・伊藤両先生とボストンのチャータースクールを訪問する機会に恵まれた(Boston Collegiate Charter School)。チャータースクールについて、『朝日新聞』2014年1月5日付は「チャータースクールが急速に広がる米国。自治体が運営費を出すが、内容に縛りはないので、既存の公立校が手を出しにくい授業時間の延長や独自のカリキュラムの作成に力を入れられる」と紹介している(「教育2014—世界は日本は—」)。上記の学校には、廊下のいたるところに、生徒の目標とすべきガンジーなどの人物像が掲げられていた。



~編集後記~ さぼ部のビブリオバトルには職員も参加しています。学生に「喋りすぎ!」と言われるくらい、今回も熱く語ってしまいました。次回は先生方も一緒にいかがでしょうか?(担当 KT)